

東京民医連

東日本大震災 ニュース

2011年3月21日

No.28

発行：東京民医連事務局

<http://www.tokyminiren.gr.jp/>

電話：03-5978-2741

FAX：03-5978-2865

メール：sien@tokyominiren.gr.jp

各地で広がる募金のよびかけ

支援募金で大きく前進！ 東都協議会

3月18日現在みさと健和団地診療所では40万円を超える支援募金、みさと健和団地診療所では総額401,559円の募金が集まりました。そのうち友の会からいただいた30万円の募金は、以前、会員さんで亡くなられたSさんが友の会に託された「Sさん基金」よりいただきました。故人のご意志を尊重してのことですが、その思いをしっかりと被災地の方々へ届けていただければと思います。

また足立健康友の会でも、3/19(土)北千住駅西口デッキで「東日本大震災」災害支援募金活動を行いました。第1次災害支援チームの写真をパネルにして呼びかけ、1時間で77,377円の義援金が集まりました。(東都協議会支援対策本部NEWSより)

街頭健康相談会とあわせて募金をうったえる 大田病院

東京民医連・大田病院は3/19(土)、JR蒲田駅西口で被災地支援募金活動を行いました。定例の街頭健康相談にあわせての実施です。医師3名を先頭に45人が参加しての大行動となりました(うち副院長の山本医師らは翌日3/20から現地坂総合病院への支援に出発しています)。

その場に自転車に積んだオムツを持ってきてくれる方、お小遣いから募金してくれる中学生など、あたたかい支援の輪の広がりを感じました。また「自分は福島から逃げてきてしまった。何もできないけど現地の力になってあげてほしい」と涙ながらに話してくれた方もいました。

この日だけで25万円以上もの募金が集まり、職員から集まった募金もあわせ全日本民医連経由で現地に届ける予定です。



東京民医連現地支援隊第4陣(斎藤事務局次長・秋濱看護部副部長) 坂総合病院に到着! 現地からの報告(3/21)

避難所訪問を行っています。

一部の地域には物資が届き始め店を開ける商店も出てきていますが、すぐに大行列ができてしまいます。みな寒い中並んでいるので、風邪などで体調を崩す方も多くなっています。市街では汚水がマンホールから溢れてしまい、衛生環境の悪化が懸念されています。行政からは簡易トイレを使うよう呼びかけられていますが、水を飲まずトイレを我慢してしまい体調崩す被災者が出てきています。訪問の際は水分補給を呼びかけるなどして健康管理に留意するよう呼びかけています。避難所になっている学校で卒業式を行うため避難所の移動を余儀なくされるなどもあり落ち着いた避難生活ですが、場所によっては支援物資も届きはじめ少しずつ状況は回復してきているようです。

「災害支援ステッカー」をご活用ください!

現地支援車両に貼るマグネット製のステッカーを作成しました。
ご希望の事業所は東京民医連へご連絡ください。

